

成蹊大学文学部演習科目「コミュニティ演習」※1 2017年度テーマ：武蔵野市の互助・共助のしくみ  
授業報告会開催 取材のご案内

成蹊大学(武蔵野市、学長：北川浩)は、武蔵野市との包括連携協定※2の取り組みの一環として、2015年度より文学部現代社会学科の演習科目「コミュニティ演習」を実施しています。

科目開設から3年目となる今年度は、文学部現代社会学科 澁谷智子准教授(専門分野：社会学)の指導のもと、「武蔵野市の互助・共助のしくみ」をテーマにフィールドワークを行いました。武蔵野市の8つのテンミリオンハウスすべてを訪れて、スタッフや利用者の方々、行政や社会福祉協議会、こども食堂ネットワークの方などにインタビューを行ない、武蔵野市独自の仕組みと言われるテンミリオンハウスにおいて、いかに地域の人々のつながりが育まれているのかを分析しました。

つきましては、7月10日(月)に、一連の活動成果を発表する授業報告会を実施致します。大学生と高齢の利用者さん、子育て中のお母さん、テンミリオンハウスや子ども食堂の運営に関わるの方々など、さまざまな立場の方の視点がどのように響き合ったのか、ぜひご取材頂きますよう、お願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

※1 文学部現代社会学科演習科目「コミュニティ演習」について

成蹊大学が位置する武蔵野市を舞台に、フィールドワークを通じて地域住民と触れ合いながら地域の課題を考察し、現代社会への理解を深めると同時に長期的視野をもって地域資源の創出に貢献することを目的としています。2015年度は「1964年から見る武蔵野市」をテーマに、前回東京五輪が開催された1964年当時の社会生活を記録した写真等の資料を市民から募集し、現在までの社会状況の変化を調査した上で、2020年東京五輪へ向けての考察を行いました。2016年度は「街についての記憶を記録に」をテーマに、吉祥寺の街の古い写真のアーカイブ化に取り組み、今昔の写真を集めたパネル展と成果発表会を開催。昔の写真の撮影場所や時期の特定作業の報告や、写真を用いた世代間交流や地域活性化の提言を行いました。

・コミュニティ演習ブログ(履修学生による活動記録) <http://seikeicommunity.blogspot.jp/>

※2 武蔵野市・成蹊大学の包括連携協定について

2014年4月、武蔵野市と成蹊大学は、人的・知的資源の交流及び物的資源の活用を図り、相互に協力して人材育成と地域社会発展に寄与することを目的として、包括連携協定を締結しました。

\*\*\*\*\*

— 記 —

成蹊大学文学部現代社会学科「コミュニティ演習」授業報告会 テーマ「武蔵野市の互助・共助のしくみ」

【日時】2017年7月10日(月) 14:30~15:50

【会場】成蹊大学8号館303教室(東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)

【内容】学生による報告 / 担当教員の説明 / 地域の方々との意見交換

【費用】無料 ※どなたでもご参加頂けます。直接会場にお越しください。

本件に関する報道機関からの取材お申込み・お問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ(担当:栗林) TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp